

在宅ケアシステム論	3 年・後期	1 単位	准教授 川村 牧子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310873

1. 授業のねらい・概要

本科目は、在宅看護学実習での学びを基に、在宅看護における看護過程の振り返りを通して、在宅ケアマネジメントの思考過程の定着化を図る。併せて、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 在宅看護の特徴を踏まえたケアマネジメントについて理解する。(D・2)
2. 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を理解する。(D・2)
3. 訪問看護師が行うマネジメントに必要な知識・技術を理解する。(D・2)

3. 授業の進め方

講義とグループワークを中心に授業を行う。

* 演習のグループワークは、個人ワークの後、グループで検討することを繰り返して行う。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	在宅ケアとケアマネジメント	講義	予習：2年後期「在宅生活援助技術」科目の内容を振り返る。 復習：授業内容とテキスト 2)「技術を提供する在宅ケア体制Ⅱ在宅ケア体制とケアマネジメント(p77-91)」を読み整理する。	川村牧子
2	事例紹介・グループワークの進め方	講義	予習：3年前期「在宅看護学実習」事前学習等を読んで理解する。 復習：テキスト 2)対象をとらえる技術①を整理する。	川村
3	事例展開 A：アセスメント	演習	予習：1 2 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む（アセスメント項目）。 2 事例 A について読み込み、シート記入の準備をする。 3 テキスト 3)在宅看護過程(p63-71)を事前に読む。 復習：アセスメント項目を整理しシートに不足部分を追加、修正する。	川村
4	事例展開 A：アセスメント	演習	予習：2 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む（アセスメント項目） 2 事例 A について読み込み、シート記入の準備をする。 復習：アセスメント項目を整理しシートに不足部分を追加、修正する。	川村
5	事例展開 A：療養者全体像	演習	予習：2 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む（療養者の全体像項目） 復習：療養者の全体像について項目を	川村

			整理し不足部分を修正する。	
6	事例 A 発表とディスカッション	演習	予習: 事例 A のアセスメント項目や全対応シート内容を確認する。 復習: ディスカッションを通して学んだこと, 考察したことをレポートする。	川村
7	事例展開 B : アセスメント	演習	予習: 12 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む(アセスメント項目)。2 事例 B について読み込み, シート記入の準備をする。 復習: アセスメント項目を整理しシートに追加、不足部分を修正する。	川村
8	事例展開 B : アセスメント	演習	予習: 12 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む(アセスメント項目)。2 事例 B について読み込み, シート記入の準備をする。 復習: アセスメント項目を整理しシートに不足部分を修正する	川村
9	事例展開 B : 療養者全体像	演習	予習: 2 年後期「在宅生活援助技術」事例展開を読む(療養者の全体像項目。) 復習: 療養者の全体像について項目を整理し不足部分を修正する。	川村
10	事例展開 B : 療養者全体像	演習	予習: 第 9 回部分の補足・修正を行う 復習: 療養者の全体像を把握し, 発表に向けて共有する内容を整理する。	川村
11	事例 B 発表とディスカッション	演習	予習: 療養者の全体像を把握し, 発表の準備をする。 復習: 事例 AB を通して学修した内容を整理し在宅における看護過程の事例展開について重要なポイントをまとめる。	川村
12	訪問看護の知識と技術①(地域包括ケアシステムの仕組み)	講義	予習: テキスト 1)「域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護」(p88-135)を読む。 復習: テキスト及び講義内容の重要ポイントをノートにまとめる。	川村
13	訪問看護の知識と技術②(地域包括ケアシステムの仕組み)	講義	予習: テキスト 1)「域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護」(p88-135)を読む。 復習: テキスト及び講義内容の重要ポイントをノートにまとめる。	川村
14	訪問看護の知識と技術③(ケアマネジメント)	講義	予習: テキスト 1)在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメントを事前に読む(p121-134)。	川村

			復習:テキスト及び講義内容の重要ポイントをノートにまとめる。	
15	在宅ケアシステム全体のまとめ ・地域・在宅看護の看護過程の特徴 ・地域包括ケアにおける訪問看護 ・地域包括ケアにおけるケアマネジメント	講義	予習:今までの資料全体を読み直し,不明点等を書き抜いておく。 復習:第1回～14回までの授業資料やテキストの指定された部分をまとめる。	川村

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席した者)80%,事例展開20%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト:1) 臺有桂ら(2022: ナーシング・グラフィカ在宅看護論① 地域療養を支えるケア, メディカ出版
2) 正野逸子・本田彰子(2015): 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術, メヂカルフレンド社.
3) 押川真喜子(2020): 新訂版 写真でわかる訪問看護アドバンス, インターメディア.

持参するもの: 在宅看護実習の事前学習

参考文献: 河野あゆみ編(2022): 強みと弱みからみた地域・在宅看護過程, 医学書院

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事例展開の予習(事例を読み込み, アセスメントシート, 療養者の全体像シートを記入)を行う。

また, 講義で行った内容を復習すること。

8. 受講上の留意事項

講義やグループワークに積極的に参加すること。

9. 課題に対するフィードバックフィードバックの方法

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり, 修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は, 以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験, 行政機関及び医療機関・地域包括ケア関連施設における保健師としての実務経験を活かして, 講義と演習を行う。